

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	麻布大学
設置者名	学校法人麻布獣医学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
獣医学部	獣医学科	夜・通信			20	20	19	
	獣医保健看護学科	夜・通信			14	14	13	
	動物応用科学科	夜・通信			13	13	13	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	夜・通信			14	14	13	
	食品生命科学科	夜・通信			13	13	13	
	環境科学科	夜・通信			14	14	13	
(備考)								
獣医学部 獣医保健看護学科 2024年度開設。設置計画に基づき計上している。								
獣医学部 動物応用科学科 1～2年 新課程 3～4年 旧課程								
生命・環境科学部 食品生命科学科 1～3年 新課程 4年 旧課程								
生命・環境科学部 環境科学科 1～3年 新課程 4年 旧課程								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス閲覧システムにおいて、条件を絞り込むことで検索可能としている。 http://syllabus.azabu-u.ac.jp/web/show.php
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	麻布大学
設置者名	学校法人麻布獣医学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/pub/about/structure.html</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一般社団法人 代表理事専務	2024.6.1～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	理事長
非常勤	開業獣医師	2024.6.1～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	業務執行理事を 監督する
非常勤	開業獣医師	2024.6.1～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	業務執行理事を 監督する
非常勤	開業獣医師	2024.6.1～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	業務執行理事を 監督する
非常勤	株式会社社外取 締役監査等委員	2024.6.1～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	業務執行理事を 監督する
非常勤	公的共済団体 理事長	2025.9.9臨時理事会終結の時～ 2027年度最初の定時評議員会終 結の時	業務執行理事を 監督する
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	麻布大学
設置者名	学校法人麻布獣医学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名、単位数、授業の形態（講義、実習等）、履修形態（必修、選択等） ・コーディネーター ・授業の概要 <ul style="list-style-type: none"> 実務家教員による授業の場合、どのような実務経験に基づきどのような教育を行うかを記載 ・教育目標（ねらい） ・教育目標（DP との関連） ・到達目標 ・成績評価の方法・基準 ・教科書：参考文献 ・履修条件 ・準備学習（予習・復習等） ・1回の授業当たりの準備学習（予習・復習等）に必要な時間 ・課題に対するフィードバック方法 ・オフィスアワー ・連絡先 ・授業内容 ・アクティブラーニング ・実務家教員 <p>●シラバスの作成過程及び時期</p> <p>本学では、Web 入稿システムを用い、以下のプロセスを経て、公開している。</p> <table border="1"> <tr> <td>12月上旬 ～ 12月下旬</td> <td>科目担当者によるシラバス作成</td> </tr> <tr> <td>1月上旬 ～ 1月下旬</td> <td>系主任・教務委員による第三者チェック①</td> </tr> <tr> <td>2月上旬 ～ 2月中旬</td> <td>チェック結果を受けて科目担当者による修正</td> </tr> <tr> <td>2月中旬 ～ 3月上旬</td> <td>系主任・教務委員による第三者チェック②</td> </tr> <tr> <td>3月上旬 ～ 3月中旬</td> <td>チェック結果を受けて科目担当者による修正</td> </tr> <tr> <td>4月上旬 ～</td> <td>チェック者から学科長・学部長等への最終報告</td> </tr> </table>		12月上旬 ～ 12月下旬	科目担当者によるシラバス作成	1月上旬 ～ 1月下旬	系主任・教務委員による第三者チェック①	2月上旬 ～ 2月中旬	チェック結果を受けて科目担当者による修正	2月中旬 ～ 3月上旬	系主任・教務委員による第三者チェック②	3月上旬 ～ 3月中旬	チェック結果を受けて科目担当者による修正	4月上旬 ～	チェック者から学科長・学部長等への最終報告
12月上旬 ～ 12月下旬	科目担当者によるシラバス作成												
1月上旬 ～ 1月下旬	系主任・教務委員による第三者チェック①												
2月上旬 ～ 2月中旬	チェック結果を受けて科目担当者による修正												
2月中旬 ～ 3月上旬	系主任・教務委員による第三者チェック②												
3月上旬 ～ 3月中旬	チェック結果を受けて科目担当者による修正												
4月上旬 ～	チェック者から学科長・学部長等への最終報告												
授業計画書の公表方法	ホームページで公表している。 http://syllabus.azabu-u.ac.jp/web/show.php												

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

あらかじめ、シラバスに記載した成績評価の方法・基準に基づき単位を授与している。具体的には、試験結果、レポート内容、小テスト、積極的な授業への参加を考慮した平常点等の方法又はこれらを組み合わせて評価している。

また、厳格かつ適正に単位授与が行われているかを担保するため、不服申立制度を設け、単位認定後の一定期間、学生による不服申し立てを受け付け、学部長・学科長がその適切性を判断している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

●GPAの具体的内容

各学期終了時に個々の履修科目のGPに配当の単位数をかけ、その総和を履修科目の総単位数で割ってGPAを算出している。

$$((\text{科目}_1\text{GP} \times \text{科目}_1\text{単位数}) + (\text{科目}_2\text{GP} \times \text{科目}_2\text{単位数}) + \dots + (\text{科目}_n\text{GP} \times \text{科目}_n\text{単位数})) \div (\text{科目}_1\text{単位数} + \text{科目}_2\text{単位数} + \dots + \text{科目}_n\text{単位数})$$

成績 (100点法)	GP
100～90点	4
89～80点	3
79～70点	2
69～60点	1
59点以下	0

ただし、以下の科目については、GPAの算出対象外としている。

- ・合格か不合格かだけを判定する科目
- ・編入学・転入学した際の単位認定科目
- ・本学入学前に履修した単位認定科目
- ・TOEIC等の成績に基づく単位認定科目
- ・教職課程等、卒業要件に含まれない科目

客観的な指標の
算出方法の公表方法

「履修ガイド」
ホームページで公表している。
https://www.azabu-u.ac.jp/for_student/guide/

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>●卒業の認定に関する方針 獣医学、畜産学、獣医保健看護学、動物応用科学、生命科学及び環境科学の教育に基づき、ICTを活用し、人と動物と環境の共生をめざす専門的知識と技術を習得し、主体的に学び続け、他者と協働して共に成長できる、幅広い視野を持ち国際社会に対して積極的に貢献できる能力を身に付け、所定の単位の修得及び所定の課程を修了して卒業を認めた者に対して、学士の学位を授与する。</p> <p>●卒業認定の実施状況 教授会において、卒業に必要な単位数を修得したことを確認の上、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	麻布大学
設置者名	学校法人麻布獣医学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/financial.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 「麻布大学の自己点検・評価結果」としてホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/evaluation_01.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 「麻布大学に対する大学評価(認証評価)結果」としてホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/evaluation.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 麻布大学 獣医学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/veterinary/)</p>
<p>(概要) 幅広い獣医学、獣医保健看護学及び動物応用科学教育を行い、生命と福祉に関わる科学者としての責任感に基づいて、社会的使命を正しく遂行し得る獣医師、愛玩動物看護師及び動物応用科学の専門家を育成するとの理念に基づき、社会より与えられた責任に対して応えられ、かつ、国際的視野を持つことができる人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/veterinary/)</p>
<p>(概要) (1) ICT を活用して、獣医学、獣医保健看護学及び動物応用科学の一分野についての専門知識と技術、実践力を持ち、動物と人の健康と福祉の維持増進や動物との共生に活用できる。(知識・理解) (2) 科学や技術が社会に及ぼす影響を理解し、適切な倫理感を備え、高い視点から、自立かつ論理的な判断を行うことができる(倫理感、思考・判断) (3) 高度専門技術者あるいは専門技術者として自らの目標を明確に持ち、問題を提起し解決するために必要となる専門知識と技術を自ら修得するために、主体的・自律的に取り組むことができる(自律性、関心・意欲) (4) 多様性のある社会において、幅広い教養や専門知識と技術を総合的に活用しながら、他者と協働して共に成長し、他者のために責任ある行動を取ることができる(多様性理解、態度) (5) 自らの思考・判断の根拠とプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力をもつ(技能・表現)</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/veterinary/)</p>
<p>(概要) ●教育課程編成の方針 (1) 高等学校までに履修した内容の定着が十分でない学生、あるいは高等学校で履修していない科目群をもつ学生に対して、大学教育への円滑な導入を図るための入門科目群を設置する。 (2) 幅広い教養と基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育科目を配置する。 (3) 専門知識と技術を体系的に学ぶため、学科の専門科目を、知識と技術の順次性を確保して体系的に設置する。 (4) 学科の専門分野を超えて、学際的な視点を養う科目を設置する。 (5) 地域社会や産業界など外界との相互作用を通じて、視野を広げ考えを深める対話的な学びの能力を養う科目を設置する。 (6) 獲得した知識や技術を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や、主体的かつ自律的な態度を育成するために、概論、特論、ゼミ、卒業論文などの科目を設置する。</p>

<p>●実施の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各授業科目について、到達目標、授業計画と実施方法、成績評価基準等を明確にして、シラバスで周知する。 (2) 主体的に考える力を育成するために、アクティブラーニング（双方向型授業、グループワーク、発表など）を積極的に取り入れるなど、授業形態、指導方法を工夫する。 (3) 実践力を涵養するために、ゼミや実習、卒業論文などで授業形態と指導方法を工夫する。 (4) 成績評価基準に基づき、厳格かつ適正な評価を行う。 (5) 学位授与方針に基づく学生の学習過程を重視し、在学中の学習成果の全体を評価する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/veterinary/)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人や動物に対する思いやりの心を持ち、主体性をもって多様な人々と協働し、能動的に社会に貢献する意志を持っている人 (2) 学習意欲が旺盛で、高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分に備わっている人 (3) 自ら課題を課し解決できる能力、考える力、判断する力、表現する力が備わっている人

<p>学部等名 麻布大学 生命・環境科学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/life_environmental/)</p>
<p>(概要)</p> <p>生命科学及び環境科学の立場から、健全な生命を育むための教育研究を展開し、もって、人の健康の維持増進や環境の安全・保全に関わる専門性の高い技術者や環境問題に対応できる人材を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/life_environmental/)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 臨床検査技術学、食品生命科学及び環境科学の一分野について、ICTを活用して専門知識と実践力を身につけ、人の健康の維持増進や環境の安全・保全に活用できる。(知識・理解) (2) 科学や技術が社会に及ぼす影響を理解し、適切な倫理感を備え、高い視点から、自立的かつ論理的な判断を行うことができる。(倫理感、思考・判断) (3) 専門技術者として自らの目標を明確に持ち、問題を提起し解決するために必要となる専門知識と技術を自ら修得するために主体的・自律的に学び続けることができる。(自律性、関心・意欲) (4) 多様性のある社会において、幅広い教養や専門知識を総合的に活用しながら、他者と協働して共に成長できる責任ある行動を取ることができる。(多様性理解、態度) (5) 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力をもつ。(技能・表現)

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/life_environmental/)</p>
<p>(概要)</p> <p>●教育課程編成の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校までに履修した内容の定着が十分でない学生、あるいは高等学校で履修していない科目群をもつ学生に対して、大学教育への円滑な導入を図るための入門科目群を設置する。 (2) 幅広い教養と基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育科目を配置する。 (3) 専門知識と技術を体系的に学ぶため、学科の専門科目を、知識と技術の順次性に留意して体系的に設置する。 (4) 学科の専門分野を超えて、学際的な視点を養う科目を設置する。 (5) 地域社会や産業界など外界との相互作用を通じて、視野を広げ考えを深める対話的な学びの能力を養う科目を設置する。 (6) 獲得した知識や技術を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や、主体的かつ自律的な態度を育成するために、概論、ゼミ、卒業論文などの科目を設置する。 <p>●実施の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各授業科目について、到達目標、授業計画と実施方法、成績評価基準等を明確にして、シラバスで周知する。 (2) 主体的に考える力を育成するために、アクティブラーニング（双方向型授業、グループワーク、発表など）を積極的に取り入れるなど、授業形態、指導方法を工夫する。 (3) 実践力を涵養するために、ゼミや実習、卒業論文などで授業形態と指導方法を工夫する。 (4) 成績評価基準に基づき、厳格かつ適正な評価を行う。 (5) 学位授与方針に基づく学生の学習過程を重視し、在学中の学習成果の全体を評価する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/life_environmental/)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎学力を有し、生命科学及び環境科学の学びを通して、自ら課題を見出し、その課題解決のため必要とする知識・技術を習得しようとする学習意欲を持ち、主体性をもって多様な人々と協働する意欲と積極性及び創造性を持っている人。 (2) 高度な専門知識をもって、能動的に社会に貢献することに強い意識を持っている人。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：「大学要覧」 ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/azb_yoran.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
獣医学部	—	35人	28人	24人	8人	4人	99人
生命・環境科学部	—	17人	6人	10人	3人	0人	36人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		103人					103人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/lab/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
獣医学部	310人	350人	112.9%	1,420人	1,659人	116.8%	若干名	1人
生命・環境科学部	180人	207人	115.0%	780人	854人	109.5%	若干名	0人
合計	490人	557人	113.7%	2,200人	2,513人	114.2%	若干名	1人
(備考) 小数点第2位繰り上げ 令和6年4月1日に各学部の収容定員を変更 獣医学部 1～3年 各310人、4年 250人、5～6年 各120人 生命・環境科学部 1～3年 各180人、4年 240人								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
獣医学部	284人 (100%)	29人 (10.2%)	211人 (74.3%)	44人 (15.5%)
生命・環境科学部	199人 (100%)	7人 (3.5%)	135人 (67.8%)	57人 (28.6%)
合計	483人 (100%)	36人 (7.5%)	346人 (71.6%)	101人 (20.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 小数点第2位繰り上げ				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目は、講義、実験・実習、演習の形態により、必修科目、選択科目、必修選択科目及び自由科目の区分に分けて開設している。授業は前・後期とも14週を確保し、それぞれの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画については、シラバスに記載し、HP上に公開している。</p> <p>●シラバス記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名、単位数、授業の形態（講義、実習等）、履修形態（必修、選択等） ・コーディネーター ・授業の概要 <ul style="list-style-type: none"> 実務家教員による授業の場合、どのような実務経験に基づきどのような教育を行うかを記載 ・教育目標（ねらい） ・教育目標（DPとの関連） ・到達目標 ・成績評価の方法・基準 ・教科書：参考文献 ・履修条件 ・準備学習（予習・復習等） ・1回の授業当たりの準備学習（予習・復習等）に必要な時間 ・課題に対するフィードバック方法 ・オフィスアワー ・連絡先 ・授業内容 ・アクティブラーニング ・実務家教員

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>あらかじめ、シラバスに記載した成績評価の方法・基準に基づき単位を授与している。具体的には、試験結果、レポート内容、小テスト、積極的な授業への参加を考慮した平常点等の方法またはこれらを組み合わせて評価している。</p> <p>また、厳格かつ適正に単位授与が行われているかを担保するため、不服申立制度を設け、単位認定後の一定期間、学生による不服申し立てを受け付け、学部長・学科長がその適切性を判断している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要なとなる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
獣医学部	獣医学科	189 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
	獣医保健看護学科	124 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
	動物応用科学科	124 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	124 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
	食品生命科学科	124 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
	環境科学科	124 単位	有 無	1 年次 49 単位 2 年次以上 46 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		<p>「国家試験合格率」 公表方法：ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/qualification/countermeasures.htm</p>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>大学ホームページ「大学要覧」 (https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/azb_yoran.html)</p> <p>大学ホームページ「キャンパスマップ」 (https://www.azabu-u.ac.jp/campus_life/map/)</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
獣医学部	獣医学科	【1年次】 1,800,000円	250,000円	450,000円	施設設備費 (年間)
		【2年次以上】 1,850,000円			
	獣医保健 看護学科	【1年次】 1,050,000円	250,000円	300,000円	施設設備費 (年間)
		【2年次以上】 1,300,000円			
	動物応用 科学科	【1年次】 1,200,000円	250,000円	300,000円	施設設備費 (年間)
		【2年次以上】 1,250,000円			
生命・環境 科学部	臨床検査 技術学科	【1年次】 1,200,000円	250,000円	300,000円	施設設備費 (年間)
		【2年次以上】 1,250,000円			
食品生命 科学科		1,200,000円	250,000円	【1年次】 300,000円	施設設備費 (年間)
				【2年次以上】 250,000円	
環境科学 科		1,200,000円	250,000円	【1年次】 300,000円	施設設備費 (年間)
				【2年次以上】 250,000円	
				400,000円	休学者在籍料 (年間) ※授業料・施設設備 費は免除
				400,000円	休学者在籍料 (年間) ※授業料・施設設備 費は免除

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学部学生指導委員会において、授業への出席状況及びG P Aによる修学指導、さらには前期終了時の成績不良学生に対する指導を実施している。 また、大学がカリキュラムにおける履修を始める前の全入学予定者を対象に学習課題を課すとともに、推薦等入試合格者に対しては入学前準備教育プログラムを実施し、基礎学力の強化を図っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 在学中は、就職活動の支援とともに、低学年から自分の将来について考えるキャリア形成支援を行っている。また、各種ガイダンス、就職活動講座、公務員試験対策講座、合同企業・公務員研究会、業界研究セミナーなど、将来に向けたさまざまなサポート体制を構築してバックアップを行っている。なお、就職や進学に関する相談については、国家資格保有者を含む専門の相談員が対応する体制を構築している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 安心・安全で快適な学生生活を送るための環境整備及び学生相談体制の充実等を行っている。 健康管理センターに看護師を配置し、年間計画に基づき、学内における健康診断、破傷風・インフルエンザ予防接種等を実施しているほか、健康相談、応急処置、検査（健康チェック等）、各種チラシ・掲示・メール等による心身の健康に関する啓発や注意喚起を実施している。 学生の様々な個人的問題や心理・精神衛生問題について、相談に応じ、助言・指導等を行うため、学生相談室やメンタルヘルス相談室を設置し、それぞれの相談室に、公認心理師・臨床心理士や医師の資格を持つ相談員（カウンセラー・精神科医）を配置して、専門的見地から、学生の心身の健康等に係る支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： ①「事業報告書」 ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/financial.html ②「大学要覧」 ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/about/open/azb_yoran.html ③「ホームページ NEWS」 ホームページで公表している。 https://www.azabu-u.ac.jp/ ④大学案内「麻布大学ガイドブック 2026」 冊子体による刊行物 教務部入試広報・渉外課窓口にて配布

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F114310104721
学校名 (〇〇大学 等)	麻布大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人麻布獣医学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		451人 (237) 人	469人 (247) 人	455人 (241) 人
内 訳	第Ⅰ区分	110人	111人	
	(うち多子世帯)	(18人)	(18人)	
	第Ⅱ区分	40人	41人	
	(うち多子世帯)	(-)	(-)	
	第Ⅲ区分	29人	31人	
	(うち多子世帯)	(-)	(-)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	37人	42人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	29人	29人	
	区分外 (多子世帯)	180人	189人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				- (0) 人
合計 (年間)				456人 (241) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	17人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	17人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	15人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	15人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。